

# 松江市立 大庭小学校

[トップ](#)[トップ](#) > [コンテンツ](#) > [校長BLOG](#) > [記事一覧](#) > R5大庭小日記\_夏休み[お知らせ](#)

## コンテンツ

[学校紹介](#)

### R5大庭小日記\_夏休み

2023年8月28日

[コンテンツ](#)[校長BLOG](#)[事務室より](#)[欠席・遅刻システム](#)[気象・警報時等対応](#)[コロナ関係](#)[入学関係](#)[新年度の書類提出](#)[職員関係](#)

## 8月28日 明日から2学期が始まります。

先週から、職員会議や研修・作業を行い、2学期に備えています。

今日は、学校医さんをお招きして、**衛生懇話会**を行いました。

衛生懇話会というのは、職場環境の向上を目指して安全や衛生に関して意見交換をする機会を指します。

学校の様子から、学校医さんからは、次のようなアドバイスをいただきました。

①**働き方を見直すには、まずイベントから。体育会、音楽会、修学旅行・・・**

②**時間外の電話は留守番電話でよい**

③**水泳の授業は施設などのハード面でも授業時数などのソフト面でも難しいのでは？**

たとえ話として、いわゆる1000円カットの短時間の理髪店のお話をされました。

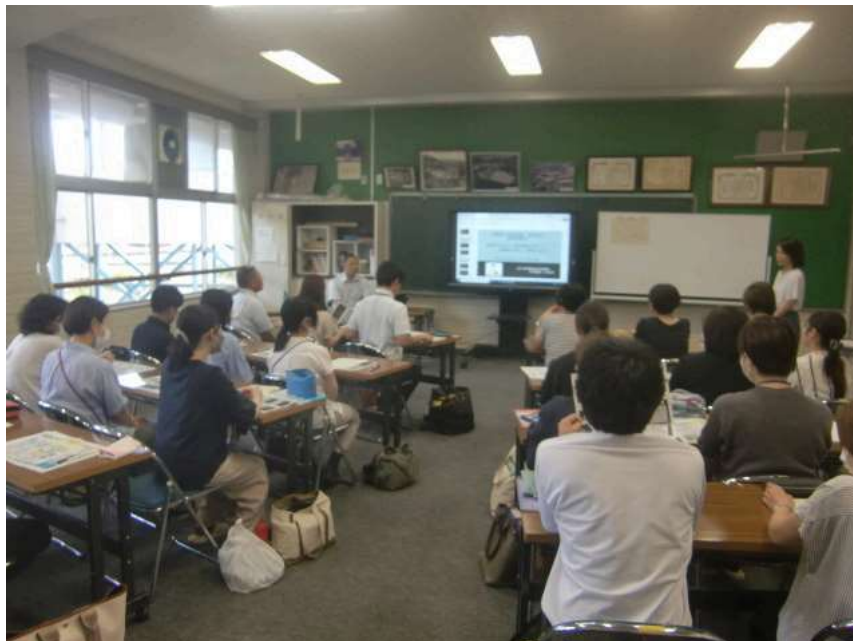
1時間かけるお店と10分～15分のお店との出来上がりの違いは案外少ないというわけです。

学校にあてはめると、私たちができることは、どこに持てる力を注ぎ込むかということになりますね。

まずは教育活動のねらいを明確にし、次にそれを達成するのに必要な枠（内容や時間）を考えるとすることが大切なのでしょう。

2学期も、子どもたちに社会で必要とされる力をつけるべく、焦点を絞って取り組んでいきます！！

## 8月2日 松江市教育研究会国語・書写部会研修会



教職員が自分たちの資質・能力を高めようと自主的に構成している団体に〇〇市（町村）教育研究会があります。

教科や〇〇教育といった部会があり、教職員はどれかの部会に参加します。

先日の硬筆コンクールも国語・書写部会の活動です。

今日は、大庭小学校で研修会を行いました。

市内小学校からたくさんの方がいらっしゃいました。

講師は松江市教育委員会の金山教育指導官です。

テーマは「個別最適な学習と協働的な学習の一体的推進」とても大事なテーマですが、改めて研修をしながら考えてみるとこれまでやってきたことがたくさんあります。

例えば、教科書の物語を読んで、同じ作者や同じテーマなど類似した本を**それぞれが選んで**読む。→感想を交流する

例えば、教科書の説明文を読んで、**それぞれが調べたいことを**図書館で調べる。→発表会をする、リーフレットにする

例えば、書写で共通の目当ての**ほかに自分の目当てを**もって書く。共通の目当ての「右払い」に加えて、自分は中心線をそろえることをいつも考えるというように

国語に関しては、**教科書だけで終わらない**ということが大切です。

ところで、講師から小学校の低学年の学習指導要領には読むことに関して「**気持ち**」を考えるという項目がないことを教えてもらいました。

確認すると確かにそうです。

低学年では

- ・内容の大体をとらえること
- ・重要な語や分を選び出すこと
- ・行動を具体的に想像すること
- ・自分の体験と結び付けて感想をもつこと

などを学びます。「気持ち」をとらえるのは、中学年の項目です。

物語の学習では「そのとき、〇〇はどう思ったのでしょうか？」と場面ごとに聞いていきがちですが、それを抑えて教科書以外の本に手を伸ばすようにしていくことが大切だと思いました。

## 8月1日 湖東中オープンスクール

6年生が湖東中の授業を体験したり、部活動を見学したりしました。

6年生も大きくなったなと思いますが、中学生はより一層大きくなっています。

冒頭、湖東中の校長先生が、中学校に向けて「期待」と「不安」のどちらが大きいかと尋ねました。

やはり、「不安」の方が大勢でした。

今日の体験で不安が減っていれば、うれしく思います。



生徒会長さんのプレゼン。

さすがの出来栄です。



数学は図形を使っの puzzles に挑戦。



部活も見学しました。暑いです！！



吹奏楽もカッコいいですね。



この体験会に合わせて、小中の職員で話し合う機会も作っています。  
子どもたちが小中の違いで戸惑わないよう相談しています。

## 7月31日 職員研修

埼玉県の小学校教諭 高崎美代子先生をお招きして職員研修を行いました。

表現（オペレッタ）、器械運動、合唱、話し合い、問題づくりなど実践のビデオから、子どもたちは任せれば、こんなに頑張れるのだと思いました。

大庭小学校では、一人一人に最適な学習を目指して、自分で選び自分で決める学びに取り組んでいます。

「よし、思い切って任せてみよう」という気持ちを後押ししてくれる研修でした。

こちらが講師の高崎先生です。↓



電子黒板に映る授業の様子を見て、グループで話し合います。

誰もができる、誰もが集中していることに感心し、その理由を探ります。



図工の作品もお持ちいただきました。

どの作品もクオリティーが高いです。

指導の効果ではなく、よりよい作品にしたいという子どもの意欲にささえられているとのことでした。



高崎先生は「(こうしようと) 言ったらその形になってしまう。でも、それでは別の場面ではまた言わないとできない子になってしまう。だから、**どうしたらいいかな**と尋ねる」と話されました。

先生がいて、これをこういう方法でこの時間までにやりましょうということは学校を卒業したらなくなります。

だとすれば、やはり「**どうしたらいいかな?**」と、子どもが、社会の中の大人の学びと同じように考えていく学校にしていきたいと再度確認しました。

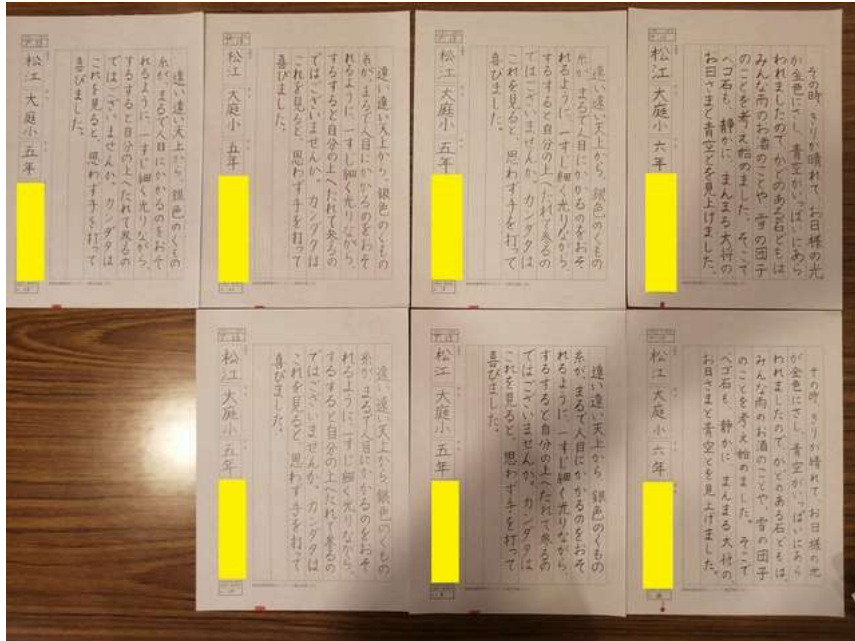
---

## 7月27日 硬筆コンクール審査会

島根県で長く取り組んでいる硬筆コンクールの審査会に参加しました。

松江市内の16000名近くの小学生がほとんど参加しています。

みなさまも小学校の時に取り組んだご記憶がありませんか？



上は金賞の作品です。  
影になっていて申し訳ないのですが、すばらしく上手です。  
一画一画丁寧に粘り強く取り組んだ結果です。  
おめでとう！

[戻る](#)

訪問者数 **103974**

お問い合わせ先  
〒690-0033 島根県松江市大庭町1074番地  
TEL: (0852)21-4239 / FAX: (0852)21-4311  
Eメール: [ooba-e@city.matsue.ed.jp](mailto:ooba-e@city.matsue.ed.jp)

2024/03/06 14:21 PC 携帯

- ☰
- 3月
- 1月
- 2月
- 3月
- 4月
- 5月
- 6月
- 7月
- 8月
- 9月

- 10月
- 11月
- 12月
  
- 2024
- 1950
- 1951
- 1952
- 1953
- 1954
- 1955
- 1956
- 1957
- 1958
- 1959
- 1960
- 1961
- 1962
- 1963
- 1964
- 1965
- 1966
- 1967
- 1968
- 1969
- 1970
- 1971
- 1972
- 1973
- 1974
- 1975
- 1976
- 1977
- 1978
- 1979
- 1980
- 1981
- 1982
- 1983
- 1984
- 1985
- 1986
- 1987
- 1988
- 1989
- 1990
- 1991
- 1992
- 1993
- 1994
- 1995
- 1996
- 1997
- 1998
- 1999
- 2000
- 2001
- 2002
- 2003
- 2004
- 2005
- 2006
- 2007
- 2008
- 2009
- 2010
- 2011
- 2012

2013  
2014  
2015  
2016  
2017  
2018  
2019  
2020  
2021  
2022  
2023  
2024  
2025  
2026  
2027  
2028  
2029  
2030  
2031  
2032  
2033  
2034  
2035  
2036  
2037  
2038  
2039  
2040  
2041  
2042  
2043  
2044  
2045  
2046  
2047  
2048  
2049  
2050

☐  
**日 月 火 水 木 金 土**  
25 26 27 28 29 1 2  
3 4 5 6 7 8 9  
10 11 12 13 14 15 16  
17 18 19 20 21 22 23  
24 25 26 27 28 29 30  
31 1 2 3 4 5 6

☐  
00:00  
00:30  
01:00  
01:30  
02:00  
02:30  
03:00  
03:30  
04:00  
04:30  
05:00  
05:30  
06:00  
06:30  
07:00  
07:30  
08:00  
08:30  
09:00  
09:30



10:00  
10:30  
11:00  
11:30  
12:00  
12:30  
13:00  
13:30  
14:00  
14:30  
15:00  
15:30  
16:00  
16:30  
17:00  
17:30  
18:00  
18:30  
19:00  
19:30  
20:00  
20:30  
21:00  
21:30  
22:00  
22:30  
23:00  
23:30

☺